

平成 25 年度 計量士技術講習会 ご案内

一般社団法人日本計量振興協会

平成 25 年度計量士技術講習会は、『実務コース』（商品量目検査業務の実務）、（電子式非自動はかりの校正と不確かさの評価の実務）、（分銅校正の不確かさの評価と校正実務）、『専門コース』（計測管理）の 4 講座を東京会場（日本計量会館）で開催します。

従来どおり、受講修了者には修了証を交付します。また、講義内容の理解度を「理解度チェックシート」により確認し、一定の基準をクリアした受講者（当協会会員計量士のみ）には後日認定証を郵送します。

なお、実務コースの受講はリフレッシュ基礎コースの受講を前提とします。

リフレッシュ基礎コースは、今年度から通信講座を新設し、開講しますのでご利用ください。

下記要領により開催しますので、皆様方のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

今年度、赤字の講習会が中小企業庁の第 3 回技術継承支援対象となっています。詳細は中小企業庁ホームページ又は当協会へお問い合わせください。

実務コース [商品量目検査業務の実務]

■日時：平成 26 年 1 月 27 日（月）10：00～16：45

■参加料（テキスト代含）：会員計量士：10,000 円、会員外計量士：15,000 円

■OSは Windows XP 以上で Excel 2003 以上がインストールされていること、USB ポートが 2 つ以上あるノートパソコンを持参してください。

時間	テーマ（講義内容）	講師	定員/締切
10：00～10：05	開講にあたって	事務局	30 名 1 月 10 日
10：05～11：05	商品量目制度の概要・特定商品について	恵田 豊氏／ 藤田 益司氏	
11：15～12：00	商品量目制度の活用にあたって		
12：00～13：00	昼 食		
13：00～16：00	商品量目検査の実施方法 ①はかりとパソコンの活用事例、②使用するはかりとパソコンの接続方法、③演算ソフトと計算シートについて ④商品量目の実習	藤田氏／恵田氏	
16：00～16：45	理解度チェック／修了証交付		

実務コース [電子式非自動はかりの校正と不確かさの評価の実務]

■日時：平成 26 年 1 月 28 日（火）9：20～16：45

■参加料（テキスト代含）：会員計量士：10,000 円、会員外計量士：15,000 円

■ノートパソコンを持参してください。パソコンを持参出来ない方は、電卓（平均値・分散・標準偏差・ $\sqrt{\quad}$ の計算ができるもの）をお持ちください。

時間	テーマ（講義内容）	講師	定員/締切
9：20～ 9：30	開講にあたって	事務局	30 名 1 月 10 日
9：30～10：30	不確かさの概要	桑山 重光氏	
10：40～12：00	電子式非自動はかりの校正の不確かさ評価	浅野 浩太氏	
12：00～13：00	昼 食		
13：00～13：20	電子式非自動はかりの校正手順	桑山 重光氏	
13：20～14：40	電子式非自動はかり校正実習（目量小さいはかり）	桑山氏／浅野氏	
14：50～16：10	電子式非自動はかり校正実習（目量大きいはかり）	桑山氏／浅野氏	
16：10～16：45	理解度チェック／修了証交付		

実務コース [分銅校正の不確かさの評価と校正実務]

■日時：平成 26 年 1 月 29 日（水）9：20～16：45

■参加料（テキスト代含）：会員計量士：10,000 円、会員外計量士：15,000 円

■ノートパソコンを持参してください。パソコンを持参出来ない方は、電卓（平均値・分散・標準偏差・ $\sqrt{\quad}$ の計算ができるもの）をお持ちください。

時間	テーマ（講義内容）	講師	定員/締切
9：20～9：30	開講にあたって	事務局	30 名 1 月 10 日
9：30～10：30	分銅校正と規格の概要（JIS B 7609:2008）	桑山 重光氏	
10：40～12：00	分銅校正の不確かさ評価の方法 ①測定原理 ②不確かさ要因と算出方法 ③校正手順書 ④最高測定能力と評価方法 ⑤バジェット表の作成 ⑥トレーサビリティの確保（校正用機器の管理）	浅野 浩太氏	
12：00～13：00	昼 食		
13：00～14：20	分銅校正の校正方法、手順 ◇校正手順 ①校正室環境 ②参照標準 ③温度ならし ④校正前の準備 ⑤予備負荷 ⑥測定手順 ⑦質量差の測定方法 ⑧読み取り時間 ⑨校正データの処理	桑山氏/浅野氏	
14：30～16：10	分銅校正の実習（呼称質量 200g、1kg） ◇校正手順に則って実習する。	桑山氏/浅野氏	
16：10～16：45	理解度チェック/修了証交付		

専門コース [計測管理]

■日時：平成 26 年 1 月 30 日（木）・31 日（金）

■参加料（テキスト代含）：会員計量士：20,000 円、会員外計量士：30,000 円

【第 1 日目】

時間	テーマ（講義内容）	講師	定員/締切
9：50～10：00	開講にあたって	事務局	50 名 1 月 10 日
10：00～11：00	1. これからの計測管理とは 1.1 計量法と計量管理 1.2 計測管理と品質向上 1.3 計測管理の目的と機能	金井 一榮氏	
11：10～12：10	2. ISO/JIS Q 9001 品質マネジメントシステム 2.1 ISO/JIS Q 9001 規格の概要	吉川 勲氏	
12：10～13：10	昼 食		
13：10～14：10	3. ISO/JIS Q 10012 計測管理マネジメントシステム 3.1 ISO/JIS Q 10012 規格の概要 3.2 計測リスクの回避 3.3 顧客重視、計量機能	中野 廣幸氏	
14：20～15：20	3.4 計量確認（校正と検証） 3.5 測定プロセスの設計 3.6 ISO 9001 と ISO 10012 の補完的活用	中野 廣幸氏	
15：30～16：30	4. 計測管理の具体的手法 4.1 JIS Z 9090:1991「測定一校正方式通則」の概要	阿知波正之氏	

【第2日目】

時間	テーマ（講義内容）	講師	定員/締切
9：15～10：15	4. 計測管理の具体的手法 4.2 測定器の精度を考慮した合否判定基準の決め方	磨田 光夫氏	50名 1月10日
10：25～10：55	5. 測定のトレーサビリティと不確かさ 5.1 測定のトレーサビリティ	桑山 重光氏	
10：55～11：45	5.2 正しく計測器の校正をするには 5.3 計測管理と不確かさを求める必要性	中村 毅洋氏	
11：45～12：45	昼 食		
12：45～13：35	5.4 不確かさ評価の考え方 5.4.1 電子式非自動はかりの校正の不確かさと評価事例	桑山 重光氏 中村 毅洋氏	
13：45～14：25	5.4.2 標準抵抗器の校正の不確かさの評価事例		
14：35～15：35	5.5 産業界における不確かさ活用の事例	阿知波正之氏	
15：40～16：20	理解度チェック/修了証交付		

リフレッシュ基礎コース通信講座

本コースは講習会会場に出向かずに自宅で勉強することができます。講習会同様、受講者（理解度チェックシートを返送した方）には修了証を、理解度チェックシートで一定の基準をクリアした会員計量士には認定証を郵送します。

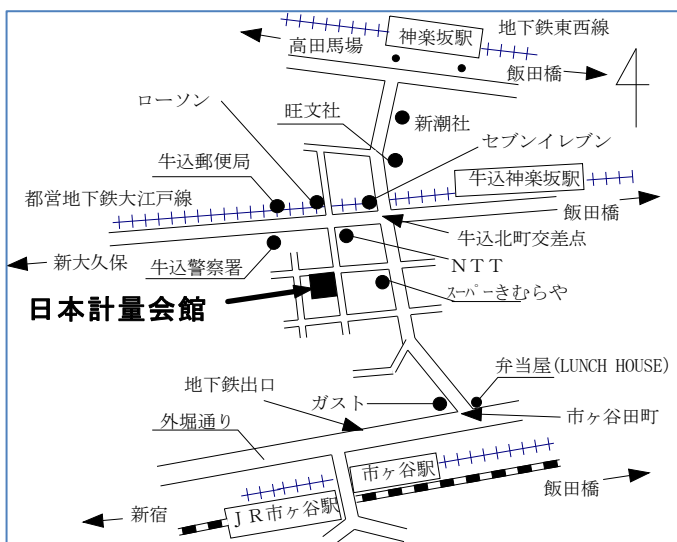
■費用：5,000（会員計量士・会員外計量士共通）

■受講方法：

- ①お申し込み後、テキスト・理解度チェックシート・返信用封筒をお送りします。
- ②テキストで勉強後、理解度チェックシートにお答えください。
- ③理解度チェックシートを同封の返信用封筒で返送してください（テキスト発送から1ヶ月以内）。
- ④修了証を交付します。実務コースの受講資格が得られます。
- ⑤一定の基準をクリアした受講者（当協会会員計量士のみ）には認定証を交付します。

■会場案内

日本計量会館 〒162-0837 東京都新宿区納戸町 25-1



都営地下鉄大江戸線 牛込神楽坂駅下車
A1 出口徒歩5分
東京メトロ東西線 神楽坂駅下車
2番出口徒歩9分
東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅下車
5・6番出口徒歩12分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

■申込方法

下記申込書に必要事項をご記入の上、メール又はFAXによりお申込みください。追って受講番号をご連絡します。

■振込先

- 郵便局：郵便振替 00110-3-3519
- 銀行：りそな銀行 神楽坂支店 普通 1359914
- 座名義 シャ)ニホンケイリョウシンコウキョウカイ

■申込先及びお問い合わせ

- 一般社団法人日本計量振興協会 推進部
- 東京都新宿区納戸町 25-1 TEL：03-3268-4925 FAX：03-3268-2553 e-mail：kb@nikkeishin.or.jp
- ★講習会の内容はホームページでもご案内しています。
- ★『専門コース（計測管理）』の講義詳細や到達目標を示していますのでご参照ください。
- <http://www.nikkeishin.or.jp/>

申 込 書

■参加希望の講習会に○印をつけてください

科目名	受講○印	科目名	受講○印
商品量目検査業務の実務		分銅校正の不確かさの評価と校正実務	
電子式非自動はかりの校正と不確かさの評価の実務		専門コース計測管理	
リフレッシュ基礎コース通信講座			

受講者氏名			
メールアドレス			
電話番号		FAX	
送付先住所	(勤務先の場合は会社名・部署名もご記入ください。) 〒		
丸で囲んで下さい	会員計量士	会員外計量士	計量士登録番号 (必ず記載) 第 号
所属団体			リフレッシュ修了番号 ※実務コース受講の方は ご記入ください。 第 号

※会員計量士とは、地域計量協会・計量士部会・計量士会等を経由して当協会へ名前を登録されている個人の方です。

※ご記入いただいた個人情報は、本講習会の管理業務以外には使用いたしません。